



LIXIL ドア用建付け調整方法と施工上のお願い

施工される方へのお願い
本体施工まではがさないでください。

木質製品は、ソリが発生する場合があります。
支障のある場合は建付け調整機能がありますので、
下記ケースに応じて調整をお願いします。

ケース1 ドアの上(下)部が枠(床)に当たる。

【上下調整方法】

- ・ 本体側下丁番のキャップを外してください。(図1参照)
- ・ 上下調整ねじを本体を下げる場合左に、上げる場合は右に回してください。
- ・ キャップをはめてください。

ケース2 ドアの側面が枠と当たる。

【左右調整方法】

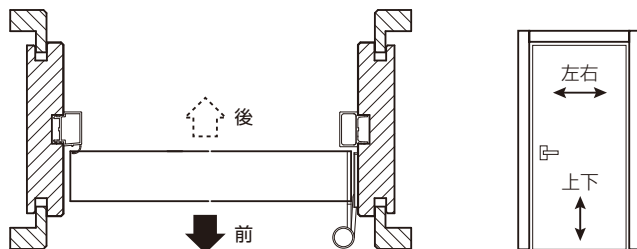
- ・ 固定ねじをゆるめてください。(図2参照)
- ・ 左右調整ねじを、吊元側に本体を寄せる場合右に回し、離す場合は左に回してください。
- ・ 固定ねじを締めてください。

ケース3 本体の前後の位置がずれている。

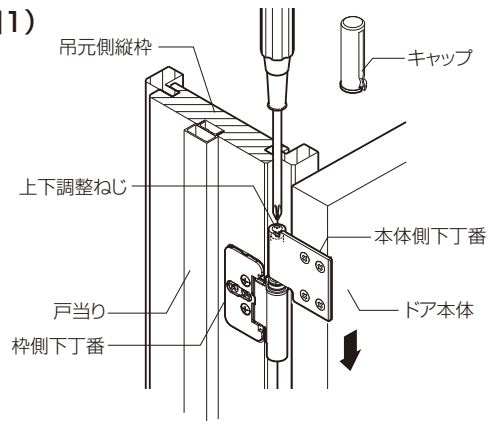
【前後調整方法】

- ・ 固定ねじをゆるめてください。(図2参照)
- ・ 前後調整ねじを、ドアを前に移動する場合左に回し、後ろに移動する場合右に回してください。
- ・ 固定ねじを締めてください。

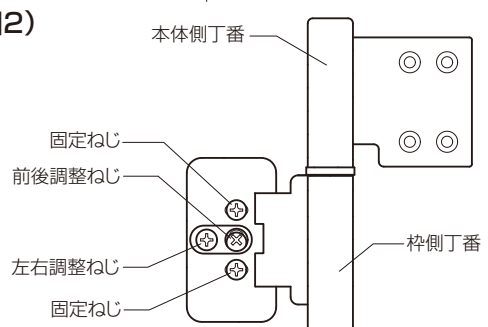
【調整方向について】



(図1)



(図2)



ドア建付け
調整方法動画



717815957002

お願い

室内外の温度差・湿度差が極端に発生しないようご配慮ください。
 エアコンやストーブなどの冷氣、熱気が直接あたると、ソリが発生
 する場合があります。

施工上のお願い

建具養生などの際、粘着テープ類(ガムテープ・養生テープなど)を
 表面材にじかに貼らないでください。建具表面が傷んだり、粘着剤
 がこびりついてとれなくなったりするおそれがあります。